

① 研究課題名：

最終末期の呼吸器疾患に対して使用した高流量鼻カニューラ酸素療法が果たす役割についての検討

② 研究の目的：

最終末期の呼吸器疾患患者の緩和医療として、高流量鼻カニューラ酸素療法（high-flow nasal cannula oxygen therapy: HFNCOT）が、どの程度の症状改善やQOLの維持・向上などに影響を与えるか、またがん性と非がん性疾患との間で、HFNCOTの導入時の状況や導入後転帰などについて比較することで、HFNCOTが緩和医療として成り立っていたかどうか、今後はどのような場合に導入すべきなのかについて明らかにすることです。

③ 研究期間：西暦 2020年 3月 ～ 2020年 5月 31日

④ 研究責任医師

研究責任医師：名古屋市立東部医療センター 呼吸器内科 小林玄弥

⑤ 研究の対象：

2012年9月1日から2019年8月31日までに名古屋市立東部医療センターにて呼吸器疾患による最終末期にHFNCOTを実施した方

⑥ 調査項目：

・最終末期におけるHFNCOT開始時の情報：

年齢、性別、死亡に至った呼吸器疾患名、高流量鼻カニューラ（high-flow nasal cannula：HFNC）の使用開始日・使用場所、HFNCOT開始時のFiO₂（酸素吸入濃度）、Flow値（酸素の流量（30～60L/min））、SpO₂、HFNC使用前の酸素療法、HFNCOT導入目的、HFNCOT開始直前の意識レベル

・HFNCOT開始後からお亡くなりになるまでの情報：

改善したSpO₂値、症状改善の有無、QOLの維持・向上の有無（食事摂取、家族とのコミュニケーション、睡眠確保）、HFNCOTに関する有害事象、鎮静剤やオピオイドの併用の有無、HFNCOT導入後の転帰（離脱、継続、変更）、HFNCOT導入からお亡くなりになるまでの期間、エンドオブライフケアのタイミング（導入前・時・後）

⑦ 研究の方法：

研究責任医師又は分担医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

学術雑誌や学会等で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな研究専用のID番号が付番され、その番号を用いて診療情報は収集されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究に係る利益相反はありません。

⑫ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	呼吸器内科	小林玄弥 TEL : 052-721-7171 (代表)